hinoko

Lecture du japonais N5 : 15 histoires courtes avec questions

Des histoires en japonais écrites pour le JLPT N5, avec furigana, questions de compréhension, réponses et traductions.

1. Lis chaque texte sans la traduction d'abord. Chaque kanji a ses furigana.
2. Réponds aux questions, puis vérifie avec les réponses à la fin du livret.
3. Lis la traduction en dernier, pour voir ce que tu as compris.

Gratuit : imprime-le et partage-le. www.hinoko-japanese.com

Test de lecture au format du JLPT

TEXTE 1

マリアさんから ゆうこさんへの メモです。

ゆうこさんへ

あしたの パーティーは 六時(ろくじ)からです。

わたしは 五時(ごじ)に えきの 前(まえ)で まって います。いっしょに 行(い)きましょう。

ケーキは わたしが かいます。ゆうこさんは のみものを かって きて ください。

マリア

1. ゆうこさんは あした 何(なに)を しますか。

1 六時(ろくじ)に えきの 前(まえ)で マリアさんを まちます。

2 ケーキを かって、パーティーに 行(い)きます。

3 のみものを かって、五時(ごじ)に えきの 前(まえ)へ 行(い)きます。

4 マリアさんと いっしょに ケーキを かいます。

TEXTE 2

リーさんが 書(か)いた さくぶんです。

わたしは 先月(せんげつ)、日本(にほん)に 来(き)ました。いまは 大学(だいがく)の ちかくの アパートに すんで います。

きのうは 日(にち)よう日(び)でした。あさ、となりの へやの 山下(やました)さんと 川(かわ)の そばを さんぽしました。川(かわ)の 水(みず)は とても きれいでした。

ひるごはんは 山下(やました)さんの へやで 食(た)べました。山下(やました)さんが カレーを つくりました。すこし からかったですが、おいしかったです。

午後(ごご)は 一人(ひとり)で 本(ほん)やへ 行(い)って、日本語(にほんご)の 本(ほん)を 二(に)さつ かいました。こんばんから 毎日(まいにち) すこしずつ 読(よ)みます。

2. リーさんは きのうの 午後(ごご)、何(なに)を しましたか。

1 一人(ひとり)で 本(ほん)を かいに 行(い)きました。

2 山下(やました)さんの へやで カレーを 食(た)べました。

3 山下(やました)さんと さんぽしました。

4 日本語(にほんご)の 本(ほん)を 二(に)さつ 読(よ)みました。

3. 山下(やました)さんの カレーは どうでしたか。

1 あまり からくなかったです。

2 からかったので、食(た)べませんでした。

3 からくなかったですが、あまり おいしくなかったです。

4 すこし からかったですが、おいしかったです。

Histoires

HISTOIRE 1

小さな 友だち

Un ami tout petit

ひのこは 小さくて あおいです。 山の 上の 小さい いえに 一人で すんでいます。

ひのこは 本が 大すきです。 毎日、まどの そばで 本を 読みます。

でも、雨は きらいです。

今日は あさから 雨が ふっています。 外は くらくて、さむいです。

ひのこは いえの 中で 本を 読んでいます。

「すみません……」

ドアの 外に だれか います。 ひのこは ドアを あけます。 小さくて 白い ねこです。 ねこの からだは とても つめたいです。

ねこは 小さい こえで いいます。「さむいです……」

「どうぞ、入って ください」

ひのこの ちかくは あたたかいです。 ねこは そこで すこし ねます。

それから、ねこは あたたかい おちゃを のみます。

「ありがとう。また 来ても いいですか」「はい、また 来て ください」

ひのこは 雨が きらいでした。 でも、今日の 雨は すこし すきです。

Questions

1. ひのこは 何(なに)が きらいでしたか。

Qu'est-ce que Hinoko n'aimait pas ?

1 本(ほん)

2 雨(あめ)

3 ねこ

4 おちゃ

2. ドアの 外(そと)に だれが いましたか。

Qui était derrière la porte ?

1 白(しろ)い ねこ

2 白(しろ)い いぬ

3 あおい ねこ

4 女(おんな)の子(こ)

3. ねこは ひのこの いえで 何(なに)を しましたか。

Qu'a fait le chat chez Hinoko ?

1 本(ほん)を 読(よ)みました。

2 山(やま)へ 行(い)きました。

3 雨(あめ)の 中(なか)で あそびました。

4 おちゃを のみました。

HISTOIRE 2

コンビニの おにぎり

L'onigiri du konbini

けんは まいあさ、えきの ちかくの コンビニで おにぎりを 一(ひと)つ かいます。 今日(きょう)は、おにぎりが あと 一(ひと)つです。

となりで、小(ちい)さい おばあさんも その おにぎりを 見(み)ています。「どうぞ」 けんは おばあさんに おにぎりを わたします。「どうも ありがとう」 今日(きょう)の あさごはんは パンです。

つぎの あさ、コンビニの やまださんが けんに 小(ちい)さい ふくろを わたします。「これ、母(はは)からです」 ふくろの 中(なか)には、大(おお)きい おにぎりが 二(ふた)つと、てがみが あります。「きのうは ありがとう」

Questions

1. けんの 今日(きょう)の あさごはんは 何(なん)ですか。

Quel est le petit-déjeuner de Ken aujourd'hui ?

1 おにぎり
2 パン
3 おかし
4 ラーメン

2. やまださんの ふくろの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Qu'y a-t-il dans le sac de Yamada-san ?

1 大(おお)きい おにぎりと てがみ
2 大(おお)きい パンと てがみ
3 小(ちい)さい おにぎりと パン
4 大(おお)きい おにぎりと パン

3. 小(ちい)さい おばあさんは だれですか。

Qui est la petite vieille dame ?

1 けんの お母(かあ)さん
2 やまださんの おばあさん
3 やまださんの お母(かあ)さん
4 けんの おばあさん

HISTOIRE 3

にちようびの 学校(がっこう)

Un dimanche à l'école

けんは ベッドで とけいを 見(み)ました。 もう 八時(はちじ)でした！

けんは えきへ はしりました。 でも、けんの めの 前(まえ)で、電車(でんしゃ)の ドアが しまりました。 つぎの 電車(でんしゃ)で 学校(がっこう)へ 行(い)きました。

学校(がっこう)は とても しずかでした。 もんの 上(うえ)に くろい ねこが いました。

「ねこさん、学校(がっこう)は 休(やす)みですか」

けんは スマホを 見(み)ました。 今日(きょう)は にちようびでした！

いえで、けんは あさごはんを たくさん 食(た)べました。 そして、十時(じゅうじ)に また ねました。

Questions

1. もんの 上(うえ)に 何(なに)が いましたか。

Qu'est-ce qu'il y avait sur le portail ?

1 くろい いぬ
2 くろい ねこ
3 白(しろ)い ねこ
4 白(しろ)い いぬ

2. けんは 学校(がっこう)へ どうやって 行(い)きましたか。

Comment Ken est-il allé à l'école ?

1 バスで
2 車(くるま)で
3 電車(でんしゃ)で
4 じてんしゃで

3. けんは 何時(なんじ)に また ねましたか。

À quelle heure Ken s'est-il recouché ?

1 八時(はちじ)
2 十時(じゅうじ)
3 十一時(じゅういちじ)
4 十二時(じゅうにじ)

HISTOIRE 4

えきの でぐち

La sortie de la gare

エマは とうきょうの 大(おお)きい えきに いました。 でぐちが たくさん ありました。 でも、北(きた)ぐちは 分(わ)かりませんでした。

となりに 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)が いました。「すみません。北(きた)ぐちは どこですか」 男(おとこ)の子(こ)は 小(ちい)さい こえで いいました。

「分(わ)かりません……。お母(かあ)さんは 北(きた)ぐちに います」

「じゃあ、いっしょに 行(い)きましょう」

東(ひがし)ぐち、西(にし)ぐち、南(みなみ)ぐち……。 そして、北(きた)ぐちに お母(かあ)さんが いました。

男(おとこ)の子(こ)は 大(おお)きい こえで いいました。「おねえさん、北(きた)ぐちは ここですよ！」

Questions

1. エマは だれに 聞(き)きましたか。

À qui Emma a-t-elle demandé son chemin ?

1 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)
2 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さん
3 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)
4 大(おお)きい 男(おとこ)の子(こ)

2. 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さんは どこに いましたか。

Où était la mère du garçon ?

1 北(きた)ぐち
2 南(みなみ)ぐち
3 東(ひがし)ぐち
4 西(にし)ぐち

3. エマは どこに いましたか。

Où était Emma ?

1 きょうとの 大(おお)きい えき
2 とうきょうの 小(ちい)さい えき
3 きょうとの 小(ちい)さい えき
4 とうきょうの 大(おお)きい えき

HISTOIRE 5

お父さんの カレー

Le curry de Papa

にちようびの ばん、お父さんが だいどころに います。 はじめて カレーを つくります。

「いただきます！」 お父さんの カレーは、とても からいです。

お母さんと ゆいは 水を たくさん のみます。

ゆいの おとうとの そらは、まだ 六さいです。 でも、カレーを ぜんぶ 食べます。「おいしい！カレーを もっと ください！」

つぎの にちようび、そらは お父さんに いいます。「また カレーを つくって ください。もっと からい カレーが いい！」 お母さんと ゆいは 大きい コップに 水を 入れます。

Questions

1. だれが 水を たくさん のみますか。

Qui boit beaucoup d'eau ?

1 お父さんと そら
2 お父さんと お母さん
3 ゆいと そら
4 お母さんと ゆい

2. そらは 何さいですか。

Quel âge a Sora ?

1 三さい
2 五さい
3 六さい
4 九さい

3. つぎの にちようび、そらは お父さんに 何を いいますか。

Le dimanche suivant, que dit Sora à Papa ?

1 「もっと からい カレーが いい」
2 「もっと あまい カレーが いい」
3 「もっと 大きい コップが いい」
4 「もっと つめたい 水が いい」

HISTOIRE 6

ゆうめいな ラーメン

Des ramen célèbres

休みの日、エマと けんは ゆうめいな ラーメンの みせへ 行きました。

みせの 前には 人が たくさん ならんでいました。 二人も 一時間 ならびました。

でも、ドアの 前で、みせの 人が いいました。「すみません。今日は もう スープが ありません」

エマは となりの 小さくて ふるい みせを 見ました。「あの みせに 入りましょう」

小さい みせには、おきゃくさんが いませんでした。「おいしい！」

けんは 二はい 食べました。

つぎの 休みの日、二人は また 小さい みせへ 行きました。 でも、小さい みせの 前にも 人が たくさん ならんでいました。「また 一時間ですね」

Questions

1. 二人(ふたり)は ゆうめいな みせの 前(まえ)で 何時間(なんじかん) ならびましたか。

Combien d'heures ont-ils fait la queue devant le restaurant célèbre ?

1 一時間(いちじかん)

2 二時間(にじかん)

3 五時間(ごじかん)

4 十時間(じゅうじかん)

2. 二人(ふたり)は どこで ラーメンを 食(た)べましたか。

Où ont-ils mangé des ramen ?

1 ゆうめいな みせで

2 小(ちい)さい みせで

3 えきの 前(まえ)で

4 けんの うちで

3. つぎの 休(やす)みの日(ひ)、小(ちい)さい みせの 前(まえ)は どうでしたか。

Le jour de congé suivant, comment était-ce devant le petit restaurant ?

1 人(ひと)が たくさん いました。

2 人(ひと)が いませんでした。

3 人(ひと)が すこし いました。

4 みせが 休(やす)みでした。

HISTOIRE 7

シロの はな

La fleur de Shiro

白(しろ)い ねこの シロは、毎日(まいにち) ひのこの いえに 来(き)ます。 今日(きょう)は、シロの くちに はなが あります。 小(ちい)さくて あおい はなです。

シロは ひのこの 前(まえ)に はなを おきます。「どうぞ」

「わあ、きれい！ありがとう、シロ。水(みず)に 入(い)れましょう」

でも、水(みず)は ひのこには あぶないです。 シロが コップに 水(みず)を 入(い)れます。

そして、はなを コップに 入(い)れます。

「シロは あおい はなが すきですか」「はい、大(だい)すきです。ひのこと おなじ いろです」

Questions

1. シロは ひのこの 前(まえ)に 何(なに)を おきますか。

Qu'est-ce que Shiro pose devant Hinoko ?

1 白(しろ)い はな
2 あおい はな
3 あおい コップ
4 白(しろ)い コップ

2. ひのこには 何(なに)が あぶないですか。

Qu'est-ce qui est dangereux pour Hinoko ?

1 コップ
2 はな
3 シロ
4 水(みず)

3. シロは どうして あおい はなが 大(だい)すきですか。

Pourquoi Shiro adore-t-il les fleurs bleues ?

1 ひのこと おなじ いろですから。
2 水(みず)と おなじ いろですから。
3 シロと おなじ いろですから。
4 コップと おなじ いろですから。

HISTOIRE 8

ねこの きって

Les timbres aux chats

ゆいは とおい ひろしまの おばあさんに てがみを 書(か)きました。

それから、ゆうびんきょくへ てがみを 出(だ)しに 行(い)きました。

ゆうびんきょくには、ねこの きってと、いぬの きってが ありました。

ゆいは ねこの きってを 十(じゅう)まい かって、ぜんぶ ふうとうに はりました。

ゆうびんきょくの 人(ひと)は その ふうとうを 見(み)て、いいました。「ねこが たくさん いますね」「はい。そぼは ねこが 大(だい)すきですから」

十日(とおか) あとに、ひろしまの おばあさんから てがみが 来(き)ました。

ふうとうには、いぬの きってが 十(じゅう)まい ありました。 ゆいは いぬが 大(だい)すきです。 おばあさんは それを よく しっています。

Questions

1. おばあさんの てがみは いつ 来(き)ましたか。

Quand la lettre de la grand-mère est-elle arrivée ?

1 三日(みっか) あと
2 五日(いつか) あと
3 七日(なのか) あと
4 十日(とおか) あと

2. ゆいは ふうとうに きってを 何(なん)まい はりましたか。

Combien de timbres Yui a-t-elle collés sur l'enveloppe ?

1 一(いち)まい
2 二(に)まい
3 五(ご)まい
4 十(じゅう)まい

3. おばあさんの ふうとうには、何(なん)の きってが ありましたか。

Quels timbres y avait-il sur l'enveloppe de la grand-mère ?

1 いぬの きって
2 ねこの きって
3 とりの きって
4 はなの きって

HISTOIRE 9

マリアの え

Le dessin de Maria

ゆいの クラスに、あたらしい せいとが 来(き)ました。

「マリアです。ブラジルから 来(き)ました。よろしく おねがいします」

マリアは しずかで、あまり 話(はな)しませんでした。 ひるごはんも いつも 一人(ひとり)で 食(た)べていました。

えいごの じゅぎょうで、マリアは ノートに えを かいていました。 先生(せんせい)が マリアの つくえの 前(まえ)で とまりました。 ノートには、先生(せんせい)の かおの えが ありました。 クラスの みんなが 先生(せんせい)を 見(み)ていました。

「これは わたしですか」「はい……すみません」 先生(せんせい)は えを よく 見(み)て、いいました。「とても じょうずですね！クラスの みんなの かおも かきませんか」

その ひるやすみ、マリアの つくえの 前(まえ)に、みんなが ならんでいました。

マリアの ひるごはんは、とても にぎやかでした。

Questions

1. マリアは どこから 来(き)ましたか。

D'où vient Maria ?

1 ベトナム
2 タイ
3 ブラジル
4 フィリピン

2. マリアは ノートに 何(なに)を かいていましたか。

Que dessinait Maria dans son cahier ?

1 ゆいの かお
2 先生(せんせい)の かお
3 じぶんの かお
4 ねこの かお

3. ひるやすみに、だれが マリアの つくえの 前(まえ)に ならんでいましたか。

À la pause de midi, qui faisait la queue devant la table de Maria ?

1 ゆい 一人(ひとり)
2 男(おとこ)の子(こ) 二人(ふたり)
3 女(おんな)の子(こ) 二人(ふたり)
4 クラスの みんな

HISTOIRE 10

うみへ 行(い)く バス

Le bus qui va à la mer

けんは はいしゃが きらいです。 今日(きょう)は バスに のって、はいしゃへ 行(い)きます。 でも、それは ちがう バスです。 けんは スマホで ゲームを しています。

「つぎは しゅうてんです」 けんは まどの 外(そと)を 見(み)ます。「……うみ？」

けんは バスを おりて、うみの 前(まえ)に たちます。 うみは あおくて、とても きれいです。 かぜも すずしいです。 けんは しゃしんを とって、お母(かあ)さんに メールします。

すぐに お母(かあ)さんから メールが 来(き)ます。「はいしゃは？」「……あしたに します」

Questions

1. けんは バスの 中(なか)で 何(なに)を していますか。

Que fait Ken dans le bus ?

1 おかしを 食(た)べています
2 本(ほん)を 読(よ)んでいます
3 ゲームを しています
4 しゃしんを とっています

2. けんは だれに メールしますか。

À qui Ken envoie-t-il un message ?

1 お父(とう)さん
2 ゆい
3 お母(かあ)さん
4 はいしゃ

3. けんは いつ はいしゃへ 行(い)きますか。

Quand Ken va-t-il chez le dentiste ?

1 今日(きょう)
2 あした
3 あさって
4 らいしゅう

HISTOIRE 11

ポチは どこ？

Où est Pochi ?

「ポチ！ポチ！」 ゆいが にわで いぬの ポチを よんでいます。

でも、ポチが いません。

お父(とう)さんと お母(かあ)さんも 来(き)て、みんなで さがします。 いっしょに すんでいる おばあさんは かいものに 行(い)っています。 お父(とう)さんは こうえんへ 行(い)って、そらは ベッドの 下(した)を 見(み)ています。 お母(かあ)さんが いいます。「そら、ポチは 大(おお)きいから、そこには いないよ」 そらは ないています。

ゆうがた、おばあさんが かいものから かえります。「ただいま」

おばあさんの 後(うし)ろに、ポチが います！ 「ポチは スーパーまで いっしょに 来(き)て、みせの 前(まえ)で まっていたよ」

その ばん、そらは ポチの そばで ねます。

Questions

1. お父(とう)さんは どこへ 行(い)きますか。

Où va Papa ?

1 スーパー
2 こうえん
3 学校(がっこう)
4 えき

2. ゆうがた、だれが かいものから かえりますか。

En fin d'après-midi, qui rentre des courses ?

1 お父(とう)さん
2 お母(かあ)さん
3 ゆい
4 おばあさん

3. ポチは どこで まっていましたか。

Où Pochi attendait-il ?

1 スーパーの 前(まえ)
2 こうえんの 前(まえ)
3 学校(がっこう)の 前(まえ)
4 えきの 前(まえ)

HISTOIRE 12

えいがかんで

Au cinéma

にちようび、けんと エマは えいがを 見(み)に 行(い)きました。

えいがかんで、けんは こわい えいがの チケットを 二(に)まい かいました。

「けんさん、こわい えいがは だいじょうぶですか」

「だいじょうぶ。大(だい)すきだから」

えいがかんの 中(なか)は くらくて、しずかでした。 こわい ところで、エマは となりの けんを 見(み)ました。 けんは めを とじていました。

「けんさん、めを あけて ください」「あけているよ！」 でも、けんは はじめから おわりまで、めを あけませんでした。

えいがの あと、けんは 大(おお)きい こえで いいました。「いい えいがだったね！」「そうですね。けんさんは どこが すきでしたか」

「……らいしゅう、また 見(み)に 行(い)きませんか」

Questions

1. けんと エマは いつ えいがを 見(み)に 行(い)きましたか。

Quand Ken et Emma sont-ils allés voir un film ?

1 どようび

2 にちようび

3 げつようび

4 きんようび

2. けんは えいがかんで 何(なに)を していましたか。

Que faisait Ken dans la salle ?

1 スマホを 見(み)ていました。

2 めを とじていました。

3 本(ほん)を 読(よ)んでいました。

4 えいがを 見(み)ていました。

3. けんは えいがを ぜんぶ 見(み)ましたか。

Ken a-t-il vu tout le film ?

1 ぜんぶ 見(み)ました。

2 半分(はんぶん) 見(み)ました。

3 こわい ところだけ 見(み)ませんでした。

4 何(なに)も 見(み)ませんでした。

HISTOIRE 13

ゆきの ねこ

Le chat de neige

今日(きょう)は あさから ゆきが ふっています。 ゆきは ひのこには

あぶないですから、ひのこは 外(そと)に 出(で)ません。

シロは 外(そと)で あそんでいます。 ひのこは まどから 外(そと)を 見(み)ます。

「シロ、どこ？」

白(しろ)い ゆきの 中(なか)に、めが 二(ふた)つ あります。 シロの めです。

シロは まどの 前(まえ)で、小(ちい)さい ゆきの ねこを つくって、ひのこに 見(み)せます。

「かわいい！シロと おなじだね」

それから、シロは いえに 入(はい)ります。 シロの あしは とても つめたいです。

ひのこは その あしを あたためます。

「ゆきの ねこも 中(なか)に 入(い)れる？外(そと)は さむいから」「だめ！ここは

あたたかいから」

Questions

1. シロは 外(そと)で 何(なに)を していますか。

Que fait Shiro dehors ?

1 ねています。

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

3 あそんでいます。

4 おちゃを のんでいます。

2. 白(しろ)い ゆきの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Qu'y a-t-il dans la neige blanche ?

1 シロの め

2 ひのこの め

3 小(ちい)さい はな

4 あおい コップ

3. だれが シロの あしを あたためますか。

Qui réchauffe les pattes de Shiro ?

1 ゆきの ねこ

2 ひのこ

3 シロ

4 ひのこと シロ

HISTOIRE 14

おなじ かさ

Le même parapluie

あさから 雨(あめ)が ふっていました。 エマは コンビニで かさを かって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせに 入(はい)る 前(まえ)に、かさを いりぐちに おきました。 中(なか)で コーヒーを のんで、本(ほん)を 読(よ)みました。

みせを 出(で)る とき、いりぐちには おなじ かさが たくさん ありました。 エマは ちかくに あった かさを とりました。 いえに かえってから、エマは その かさを よく 見(み)ました。 かさには 小(ちい)さい ねこの えが ありました。 エマの かさではありませんでした。

つぎの あさ、エマは その かさを もって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせの 前(まえ)で、高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)が まっていました。「それ、わたしの かさです！これは あなたの かさですか」「はい……たぶん」「コンビニの かさは ぜんぶ おなじですから、えが あった ほうが いいですよ」 それから、二人(ふたり)は 友(とも)だちに なりました。 今(いま)は、エマの かさにも、友(とも)だちが かいた 小(ちい)さい ねこの えが あります。

Questions

1. エマは かさを どこに おきましたか。

Où Emma a-t-elle laissé son parapluie ?

1 きっさてんの 中(なか)

2 コンビニの いりぐち

3 きっさてんの いりぐち

4 コンビニの 中(なか)

2. エマが とった かさには、何(なん)の えが ありましたか。

Quel dessin y avait-il sur le parapluie qu'Emma avait pris ?

1 ねこの え

2 いぬの え

3 とりの え

4 はなの え

3. つぎの あさ、みせの 前(まえ)で だれが まっていましたか。

Le lendemain matin, qui attendait devant le café ?

1 高校生(こうこうせい)の 男(おとこ)の子(こ)

2 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

3 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

4 高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)

HISTOIRE 15

みじかい えんぴつ

Le bout de crayon

今日(きょう)は えいごの テストです。 テストの 前(まえ)に、けんは かばんを あけます。

えんぴつが ありません！ 「えんぴつを いえに わすれた……」

となりの ゆいが、けんに とても みじかい えんぴつを かします。

「つぎは、わすれない ほうが いいよ」

テストの とき、けんは えんぴつを 見(み)ます。 えんぴつに ことばが

あります。「がんばって ください」 けんは げんきに なります。

テストが おわってから、けんは ゆいに えんぴつを かえします。

そして、つぎの あさ、あたらしい 長(なが)い えんぴつも わたします。 長(なが)い

えんぴつにも、けんの ことばが あります。「ありがとう。つぎは

わすれないよ」

ゆいは その えんぴつを まだ つかっていません。 その

えんぴつは、今(いま)も 長(なが)いです。

Questions

1. けんは えんぴつを どこに わすれましたか。

Où Ken a-t-il oublié ses crayons ?

1 けんの いえ

2 ゆいの いえ

3 学校(がっこう)の つくえ

4 電車(でんしゃ)の 中(なか)

2. みじかい えんぴつには、どんな ことばが ありますか。

Qu'est-ce qui est écrit sur le petit crayon ?

1 がんばって ください

2 つぎは わすれないよ

3 よろしく おねがいします

4 ありがとうございます

3. ゆいは あたらしい 長(なが)い えんぴつを つかっていますか。

Yui se sert-elle du long crayon neuf ?

1 はい、毎日(まいにち) つかっています。

2 はい、テストで つかいました。

3 いいえ、けんに かえしました。

4 いいえ、まだ つかっていません。

Réponses

Test de lecture au format du JLPT
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Histoire 1 (Un ami tout petit)
1. 2 · 2. 1 · 3. 4

Histoire 2 (L'onigiri du konbini)
1. 2 · 2. 1 · 3. 3

Histoire 3 (Un dimanche à l'école)
1. 2 · 2. 3 · 3. 2

Histoire 4 (La sortie de la gare)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Histoire 5 (Le curry de Papa)
1. 4 · 2. 3 · 3. 1

Histoire 6 (Des ramen célèbres)
1. 1 · 2. 2 · 3. 1

Histoire 7 (La fleur de Shiro)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Histoire 8 (Les timbres aux chats)
1. 4 · 2. 4 · 3. 1

Histoire 9 (Le dessin de Maria)
1. 3 · 2. 2 · 3. 4

Histoire 10 (Le bus qui va à la mer)
1. 3 · 2. 3 · 3. 2

Histoire 11 (Où est Pochi ?)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Histoire 12 (Au cinéma)
1. 2 · 2. 2 · 3. 4

Histoire 13 (Le chat de neige)
1. 3 · 2. 1 · 3. 2

Histoire 14 (Le même parapluie)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Histoire 15 (Le bout de crayon)
1. 1 · 2. 1 · 3. 4

279 histoires du N5 au N2, avec audio, dictionnaire sur chaque mot et révision, sur le web et dans l'app hinoko : www.hinoko-japanese.com

Traductions

Test de lecture au format du JLPT, Texte 1

Un mot de Maria pour Yuko.

Yuko,

La fête de demain commence à six heures.

Je t'attendrai devant la gare à cinq heures. Allons-y ensemble.

J'achète le gâteau. Toi, achète des boissons et apporte-les, s'il te plaît.

Maria

Test de lecture au format du JLPT, Texte 2

Une rédaction de Li.

Je suis arrivé au Japon le mois dernier. J'habite maintenant un appartement près de l'université.

Hier, c'était dimanche. Le matin, je me suis promené au bord de la rivière avec Yamashita, mon voisin de palier. L'eau de la rivière était très claire.

Nous avons déjeuné chez Yamashita, qui a fait un curry. C'était un peu épicé, mais bon.

L'après-midi, je suis allé seul à la librairie et j'ai acheté deux livres en japonais. À partir de ce soir, je vais en lire un peu chaque jour.

Histoire 1 : Un ami tout petit

Hinoko est petite et bleue. Elle habite seule dans une petite maison, sur la montagne.

Hinoko adore les livres. Tous les jours, elle lit près de la fenêtre. Mais la pluie, elle n'aime pas ça.

Aujourd'hui, il pleut depuis le matin. Dehors, il fait sombre et froid. Hinoko lit un livre à l'intérieur de la maison.

« Excusez-moi… »

Il y a quelqu'un derrière la porte. Hinoko ouvre la porte. C'est un petit chat blanc. Le corps du chat est tout froid.

Le chat dit d'une petite voix : « J'ai froid… »

« Entre, je t'en prie. »

Près de Hinoko, il fait bon. Le chat y dort un peu. Ensuite, le chat boit un thé bien chaud.

« Merci. Je peux revenir ? » « Oui, reviens me voir. »

Hinoko n'aimait pas la pluie. Mais la pluie d'aujourd'hui, elle l'aime un peu.

Histoire 2 : L'onigiri du konbini

Tous les matins, Ken achète un onigiri au konbini près de la gare. Aujourd'hui, il ne reste plus qu'un onigiri.

À côté de lui, une petite vieille dame regarde aussi cet onigiri. « Je vous en prie. » Ken tend l'onigiri à la vieille dame. « Merci beaucoup. » Ce matin, au petit-déjeuner, ce sera du pain.

Le lendemain matin, Yamada-san, du konbini, tend un petit sac à Ken. « C'est de la part de ma mère. » Dans le sac, il y a deux gros onigiri et une lettre. « Merci pour hier. »

Histoire 3 : Un dimanche à l'école

Dans son lit, Ken a regardé le réveil. Il était déjà huit heures !

Ken a couru jusqu'à la gare. Mais les portes du train se sont fermées juste devant lui. Il a pris le train suivant pour aller à l'école.

L'école était très calme. Sur le portail, il y avait un chat noir. « Monsieur le chat, il n'y a pas école ? »

Ken a regardé son téléphone. On était dimanche !

À la maison, Ken a mangé un gros petit-déjeuner. Puis, à dix heures, il est retourné se coucher.

Histoire 4 : La sortie de la gare

Emma était dans une grande gare de Tokyo. Il y avait beaucoup de sorties. Mais la sortie nord, elle ne la trouvait pas.

À côté d'elle, il y avait un petit garçon. « Pardon, où est la sortie nord ? » Le garçon a dit d'une petite voix : « Je ne sais pas… Ma maman est à la sortie nord. » « Alors, allons-y ensemble. »

La sortie est, la sortie ouest, la sortie sud… Et à la sortie nord, il y avait sa maman.

Le garçon a dit d'une voix forte : « Mademoiselle, la sortie nord, c'est ici ! »

Histoire 5 : Le curry de Papa

Dimanche soir, Papa est dans la cuisine. Il fait un curry pour la première fois.

« Bon appétit ! » Le curry de Papa est très épicé. Maman et Yui boivent beaucoup d'eau.

Sora, le petit frère de Yui, n'a que six ans. Mais il mange tout son curry. « C'est délicieux ! Encore du curry, s'il te plaît ! »

Le dimanche suivant, Sora dit à Papa : « Fais encore du curry, s'il te plaît. Et encore plus épicé ! » Maman et Yui remplissent de grands verres d'eau.

Histoire 6 : Des ramen célèbres

Un jour de congé, Emma et Ken sont allés dans un restaurant de ramen célèbre. Devant le restaurant, beaucoup de gens faisaient la queue. Eux aussi ont fait la queue, pendant une heure.

Mais à la porte, quelqu'un du restaurant a dit : « Désolé. Aujourd'hui, il n'y a plus de bouillon. »

Emma a regardé le vieux petit restaurant d'à côté. « Allons dans ce restaurant-là. »

Dans le petit restaurant, il n'y avait aucun client. « Délicieux ! » Ken en a mangé deux bols.

Le jour de congé suivant, ils sont retournés au petit restaurant. Mais devant le petit restaurant aussi, beaucoup de gens faisaient la queue. « Encore une heure, hein… »

Histoire 7 : La fleur de Shiro

Shiro, le chat blanc, vient chez Hinoko tous les jours. Aujourd'hui, Shiro a une fleur dans la gueule. C'est une petite fleur bleue.

Shiro pose la fleur devant Hinoko. « Tiens. »

« Oh, qu'elle est jolie ! Merci, Shiro. Mettons-la dans l'eau. »

Mais l'eau, c'est dangereux pour Hinoko. C'est Shiro qui met de l'eau dans un verre. Puis il met la fleur dans le verre.

« Shiro, tu aimes les fleurs bleues ? » « Oui, je les adore. Elles ont la même couleur que toi. »

Histoire 8 : Les timbres aux chats

Yui a écrit une lettre à sa grand-mère de Hiroshima, qui habite loin. Puis elle est allée à la poste pour envoyer sa lettre. À la poste, il y avait des timbres avec des chats et des timbres avec des chiens. Yui a acheté dix timbres avec des chats et elle les a tous collés sur l'enveloppe.

L'employé de la poste a regardé l'enveloppe et a dit : « Ça en fait, des chats ! » « Oui. C'est que ma grand-mère adore les chats. »

Dix jours plus tard, une lettre de sa grand-mère de Hiroshima est arrivée. Sur l'enveloppe, il y avait dix timbres avec des chiens. Yui adore les chiens. Sa grand-mère le sait bien.

Histoire 9 : Le dessin de Maria

Une nouvelle élève est arrivée dans la classe de Yui. « Je m'appelle Maria. Je viens du Brésil. Enchantée. »

Maria était calme et ne parlait pas beaucoup. Et le midi, elle mangeait toujours seule.

En cours d'anglais, Maria dessinait dans son cahier. Le professeur s'est arrêté devant la table de Maria. Dans le cahier, il y avait un dessin du visage du professeur. Toute la classe regardait le professeur.

« C'est moi ? » « Oui… Pardon. » Le professeur a regardé le dessin attentivement, puis il a dit : « Tu dessines très bien ! Et si tu dessinais aussi les visages de toute la classe ? »

Ce midi-là, tout le monde faisait la queue devant la table de Maria. Le déjeuner de Maria était très animé.

Histoire 10 : Le bus qui va à la mer

Ken n'aime pas le dentiste. Aujourd'hui, il prend le bus pour aller chez le dentiste. Mais ce n'est pas le bon bus. Ken joue à un jeu sur son téléphone.

« Prochain arrêt : terminus. » Ken regarde par la fenêtre. « … La mer ? »

Ken descend du bus et se tient face à la mer. La mer est bleue et très belle. Le vent aussi est frais et agréable. Ken prend une photo et l'envoie à sa mère.

Un message de sa mère arrive tout de suite. « Et le dentiste ? » « … Ce sera pour demain. »

Histoire 11 : Où est Pochi ?

« Pochi ! Pochi ! » Yui appelle le chien Pochi dans le jardin. Mais Pochi n'est pas là.

Papa et Maman arrivent aussi, et tout le monde cherche. Grand-mère, qui vit avec eux, est partie faire les courses. Papa va au parc, et Sora regarde sous le lit. Maman dit : « Sora, Pochi est grand : il n'est pas là-dessous. » Sora pleure.

En fin d'après-midi, Grand-mère rentre des courses. « Je suis rentrée ! » Derrière Grand-mère, il y a Pochi ! « Pochi est venu avec moi jusqu'au supermarché, et il m'a attendue devant le magasin. »

Ce soir-là, Sora dort près de Pochi.

Histoire 12 : Au cinéma

Dimanche, Ken et Emma sont allés voir un film. Au cinéma, Ken a acheté deux billets pour un film qui fait peur. « Ken, tu supportes les films qui font peur ? » « Aucun problème. J'adore ça ! »

Dans la salle, il faisait noir et tout était silencieux. Pendant un passage qui faisait peur, Emma a regardé Ken, à côté d'elle. Ken avait les yeux fermés. « Ken, ouvre les yeux. » « Mais ils sont ouverts ! » Mais du début à la fin, Ken n'a pas ouvert les yeux.

Après le film, Ken a dit d'une voix forte : « C'était un bon film, hein ! » « Oui. Et toi, Ken, quel passage tu as aimé ? » « … Et si nous retournions le voir la semaine prochaine ? »

Histoire 13 : Le chat de neige

Aujourd'hui, il neige depuis le matin. La neige est dangereuse pour Hinoko, alors elle ne sort pas.

Shiro joue dehors. Hinoko regarde dehors par la fenêtre. « Shiro, où es-tu ? »

Dans la neige blanche, il y a deux yeux. Ce sont les yeux de Shiro.

Devant la fenêtre, Shiro fait un petit chat de neige et le montre à Hinoko. « Il est mignon ! On dirait toi ! »

Ensuite, Shiro rentre dans la maison. Les pattes de Shiro sont toutes froides. Hinoko les réchauffe.

« On fait entrer le chat de neige aussi ? Il fait froid, dehors. » « Non ! Ici, il fait chaud. »

Histoire 14 : Le même parapluie

Il pleuvait depuis le matin. Emma a acheté un parapluie dans un konbini, puis elle est allée dans un café. Avant d'entrer, elle a laissé son parapluie à l'entrée. À l'intérieur, elle a bu un café et lu un livre.

Au moment de partir, il y avait plein de parapluies identiques à l'entrée. Emma a pris un parapluie qui était près d'elle. Une fois rentrée chez elle, Emma a bien regardé le parapluie. Sur le parapluie, il y avait un petit chat dessiné. Ce n'était pas le parapluie d'Emma.

Le lendemain matin, Emma est allée au café avec ce parapluie. Devant le café, une lycéenne attendait. « C'est mon parapluie ! Et celui-ci, il est à vous ? » « Oui… sans doute. » « Les parapluies de konbini sont tous pareils : c'est mieux avec un dessin. »

Après ça, elles sont devenues amies. Maintenant, sur le parapluie d'Emma aussi, il y a un petit chat dessiné par son amie.

Histoire 15 : Le bout de crayon

Aujourd'hui, il y a un contrôle d'anglais. Avant le contrôle, Ken ouvre son sac. Il n'y a pas de crayons ! « J'ai oublié mes crayons à la maison… »

Yui, sa voisine, prête à Ken un crayon très court. « La prochaine fois, tu ferais mieux de ne pas oublier. »

Pendant le contrôle, Ken regarde le crayon. Il y a un mot sur le crayon. « Bon courage ! » Ken reprend courage.

Après le contrôle, Ken rend le crayon à Yui. Et le lendemain matin, il lui donne aussi un long crayon neuf. Sur le long crayon aussi, il y a un mot de Ken. « Merci. La prochaine fois, je n'oublierai pas. »

Yui ne s'est toujours pas servie de ce crayon. Il est toujours aussi long.